

WEEKLY REPORT No.1316

<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1543回例会

ロータリー財団月間
平成27年11月12日(木)
クラブフォーラム
於 名古屋東急ホテル
会員 58名
出席計算数
49名中40名出席
出席率 81・63%
前々回出席率 100%

例会プログラム

- ★米山功労者表彰及びR財団PH F表彰状・バッジの進呈
- ★第37回米山功労クラブ及びR財団ベネファクター表彰状・バッジの進呈
- ★岡村国際奉仕委員長
・海外例会詳細の案内
- ★吉田明夫職業奉仕副委員長
・チャリティーラン2015報告
- ★クラブフォーラム

「ロータリーソング」

「奉仕の理想」
指揮者 渡辺 観永
ピアノ伴奏 富根 玲子

「ニコボックス」

岩崎さん 武藤さん クラブフォーラム
ーラム宜しくお願いたします。
田崎 雅三
酒井 修・丹下 富博
吉田 隆彦
山口 正孝

本日歴代会長挨拶をさせて頂きます。
息子・娘の誕生日です。

結婚記念月です。 横井 衛
来週の香港例会、よろしくお願ひ 堀江 英弥
します。 岡村 隆徳
吉田憲一さん、大変大変お世話に 吉田 隆彦
なりました。誠にありがとうございます
になりました。 春日井和良
いました。 佐々木 功・小野 定男
荒井さんが声をかけてくれたので 近藤宏一郎
素通のできませんでした。

会長挨拶(歴代会長挨拶)

第20代会長(08-04年度) 吉田 隆彦

私は名古屋大須ロータリークラブの第20代会長を務めさせていただきました。幹事は最近お忙しくなかながら例会にはご出席されていませんが、飯田昭夫さんでした。今回、スピーチのチャンスを与えていただきましたので、ロータリークラブの国際大会についてお話しさせていただきます。
1989年のソウル大会を皮切りに、今までアメリカ、ヨーロッ



パ、東南アジア各地での大会に10数回参加させて頂きました。国際大会の登録料は300ドルを超える高額です。個人での参加の場合、団体ツアーでは味わえない楽しみがあります。

国際大会には5つの参加理由でいうものがありますが、世界のロータリアンのお祭りの意味もあり、いろいろな音楽、踊り等のアトラクションがあり、現地でのツアーにも参加できます。友愛の広場では現地ならではの食事やアフリカをはじめ世界及各国の民芸品、そして生演奏での音楽等の楽しさを味わうことができます。

また、ホストクラブ主催の現地ツアーもあり、バンコクでは「ユタヤツアー」、リスボンでは「シントラとヨーロッパ最西端のロタ岬ツアー」等に参加しました。国際大会は、いろいろな国のロータリアンとの出会いの場でもあります。これらのツアーでも、世界中のロータリアンと多くの出会いがありました。ネパールでお世話になったマヘンドラ、今、世界平和フェローで澤屋さんがノースキャロライナでお世話になっているパートナーもその出会いの一例です。

せひとも、皆さん来年のソウル大会を楽し



んできて下さい。

クラブフォーラム

「ロータリー財団補助金について」

R財団・米山記念奨励委員長 岩崎 征一

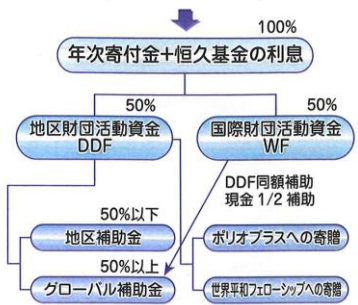
ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。

「EVERY ROTARIAN EVERY YEAR」はロータリアン全員が毎年参加する財団活動です。

地区補助金	DDFの50%以内を使って、地区の裁量で自由に、人道的、教育的プロジェクトを実施できる。
グローバル補助金	クラブ、地区が財団の重点とする6つの分野に関するプロジェクトを独自に立案し、申請するもの。

年次寄付

「EVERY ROTARIAN EVERY YEAR」と「ポールハリスフェロー」



*ロータリー財団補助金のしくみについて説明を頂きました。また、補助金の財源として3年度前の「年次寄付」と「恒久基金の利息100%」が使われること、補助金の支給額は「補正貢献指数(クラブ1人当たり年次寄付額/同地区平均)」で算出されることなど補正説明頂きました。

*なお、ロータリーが1979年から継続的に実施しているポリオ撲滅活動については、いよいよ最終局面に入ったこと報告頂きました。

「会員増強」についての課題と提案

会員組織委員長 武藤恵美子

近年当クラブにおいて、会員が少ないことが問題となっていることは周知の事実であり、会員増強が大きな課題であることを、幹事の丹下さんより説明頂いた。例として、名古屋栄RCCがパンフレットを作成し会員がそれを用いて勧誘している、との紹介があった。

会員組織委員会では、昨年度より頻回に意見交換会を行い、又前回のクラブアセスンブリーでも話し合った。そこで以下の意見が挙がった。

- ① 広く求めるよす
友人を勧誘が一番良い
- ② 職業分類よりもまず人柄
- ③ 例会参加の「友達」を
どう入会に繋げるかが問題
若い人の入会を望む
- ④ 行動力のある

そこで、「友達」を勧誘する方法としての「友達を呼ぼう例会」の実績を報告し、少なくとも当クラブに興味を感じて参加頂いた人をどう入会に繋げるかを考える必要性を示した。

一案として、忙しくて毎回の例会参加が不可能で入会できない若い人のため、ネットを用いた新しい例会参加の方法を構築すれば、それが他のRCCにはない、勧誘をしやすい価値になると提案した。回をもって例会参加とするかは、規約を確認しながら、ロータリーの精神に合う方法を探る必要がある、今後の検討課題とした。

米山功労者表彰状の進呈

第2回マルチブル

近藤 明美
田崎雅三会長より、表彰状が手渡されました。多額の寄付を頂きありがとうございます。

R財団ポール・ハリス・フェロー

表彰状・バッジの進呈

ポール・ハリス・フェロー1回目 渡辺 観永
ポール・ハリス・フェロー2回目 木村 光徳 浅井 隆宣
田崎雅三会長より、表彰状・バッジが手渡されました。多額の寄付を頂きありがとうございます。

R財団恒久基金

ベネファクター表彰 田崎 雅二

R財団恒久基金への1,000ドルの寄付者(ベネファクター)として、R財団より表彰状と記念のピンが贈られました。



第37回米山功労クラブ表彰状の進呈



その他・お知らせ

YMCAチャリテイルン

職業奉仕委員長 宇野 史仁
11月7日名城公園で開催された第22回名古屋チャリテイルマフソンに今年もチーム、レース参加しました。

会員ご家族、青少年交換学生・派遣候補生の10代が中心の「チームひまわり」は、71チーム中25位の好成績を収めてくれました。ランナーの皆さん、本当にお疲れ様でした。

当日は、レースの応援に会員を含む15名の方々が参加して下さい、大会を盛り上げて頂きました。ありがとうございました。ありがとうございました。また、差し入れをして頂きました吉田明夫さん、感謝申し上げます。

11月26日(木) 例会の案内
卓話
「認知症にならないために」
どうするかな?」
名古屋大学名誉教授 鍋島 俊隆さん
紹介者: 丹下 富博さん
12月3日(木) 例会の案内
例会変更 同日同時刻
於 名古屋銀行協会
「ウィンフルドンへの道」
会員 浅井 隆宣さん
12時00分より受付
12時30分より開会

広報委員会 前田 隆久
大澤 伸悟・杉浦 令淑
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。